



2022年4月4日
株式会社 山梨中央銀行

営業店の窓口「セミセルフ端末」を導入しました

株式会社山梨中央銀行（頭取 関 光良）は、営業店における業務の効率化、お客さまの利便性の向上を図るため、営業店の窓口「セミセルフ端末」を導入しました。

当行は、今後もお客さまの利便性向上につながるサービスの提供に努めてまいります。

【「セミセルフ端末」の概要】

1. 概要（機器の構成は別紙をご参照ください。）

本端末は、当行と沖電気工業(株)との共創により構築した窓口用端末です。

当行が開発した「タブレット端末」と、沖電気工業(株)が開発したお客さま用現金入出金機「SmartCashStation」^{※1}を連携しております。

お客さまご自身で、「タブレット端末」へのお取引内容のご入力、現金の入出金の操作をしていただくことが可能です。

本端末をご利用いただくことで、伝票を記入するご負担の軽減や待ち時間の短縮、窓口業務の効率化が図られます。

※1 詳しくはこちら (<https://www.oki.com/jp/>)

2. 取扱業務

取 扱 業 務			
預金入出金	振 込	税公金納付	両 替

※ 一度に複数のお取引を受け付けることができます。

※ 通帳や印鑑によるお取引のほか、キャッシュカードや暗証番号でのお取引も可能です。

※ QRコード付伝票（「QRコード付伝票作成サービス」で作成した伝票）をご利用いただけます。

3. 導入済み店舗

導 入 済 み 店 舗				
柳町支店	甲府駅前支店	南支店	須玉支店	田富支店

※ その他の店舗については、7月以降に順次導入します。

以 上

【セミセルフ端末の機器構成】



機器	用途
①タブレット端末	お取引を入力するタブレット画面。専用ペンを使用します。
②磁気リーダー	通帳・キャッシュカードの磁気ストライプ情報を読み取ります。
③印鑑スキャナ	お届け印の印影データを取得します。
④バーコードリーダー	「QRコード付伝票」の読み取りに使用します。
⑤スキャナ	運転免許証などの本人確認資料を読み取ります。
⑥現金入出金機	現金の投入口です。

【営業店窓口の様子（田富支店）】

